

パノコムⅡ

【警告】

1. 使用中、患者が撮影ミラーを強く噛まないように注意すること。[破損の危険性があるため]
2. 撮影ミラー、咬合撮影補助ツールは必ず使用前に滅菌してから使用すること。[感染症の危険性があるため]
3. LEDライトを直視しないこと。[目の障害を引き起こす危険性があるため]

【禁忌・禁止】

1. 次の医用電子機器と併用しないでください。[機器に誤作動を招くおそれがあるため]
 - ・ペースメーカ、植え込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電子機器
 - ・心電計などの装着型の医用電子機器
2. 次の使用方法で本品を使用しないでください。[機器に誤作動を招くおそれがあるため]
 - ・強力な電磁波を発生する電子機器の近くでの使用

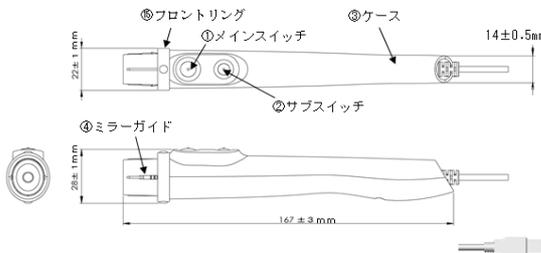
【形状・構造及び原理等】

(1) 構成

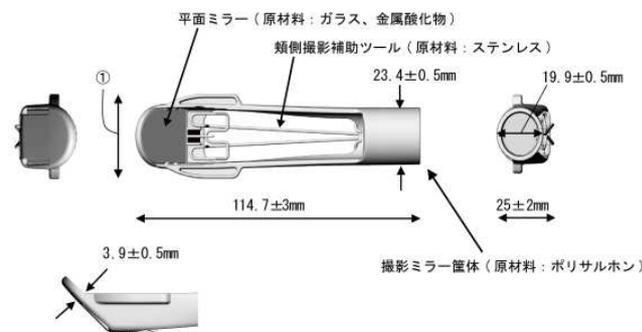
本品は、連写カメラ、撮影ミラー22、撮影ミラー25又は撮影ミラーPL、咬合撮影補助ツール 22、咬合撮影補助ツール 25、置き台により構成される。

(2) 形状及び寸法

〈連写カメラ〉

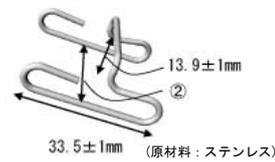


〈撮影ミラー×2種類〉



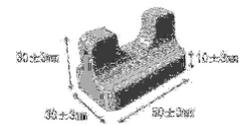
部品名	幅①
撮影ミラー22	34.3±0.5mm
撮影ミラー25	37.3±0.5mm

〈咬合撮影補助ツール×2種類〉

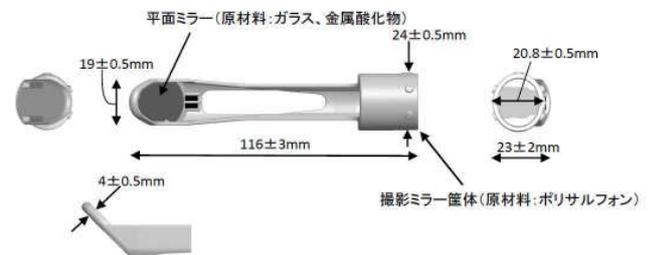


部品名	幅②
咬合撮影補助ツール 22	28.6±1mm
咬合撮影補助ツール 25	31.6±1mm

〈置き台〉



〈撮影ミラーPL (付属品)〉



(3) 電気的定格

定格電圧 5V
最大消費電流 372mA
消費電力 最大 1.9W
電撃に対する保護の形式: 外部電源機器
電撃に対する保護の程度: BF 形装着部

(4) 動作原理

連写カメラ先端部 (ミラーガイド) に装着した撮影ミラーのミラー面に、連写カメラのLEDからの光を反射させて、口腔内を照明し、ミラー面に映る口腔内を連写カメラ内蔵 CMOS カメラにより撮影する。CMOS カメラからの画像情報をデジタル信号に変換し、連写カメラ後端部に設けた USB コネクタから出力する装置。

【使用目的又は効果】

連写カメラに撮影ミラーを装着した状態で、撮影ミラー内蔵の CMOS カメラにより、口腔内の情報をモニターに映し出し、診療、患者への説明等に使用する装置である。

【使用方法等】

- (1) 撮影ミラーの準備と連写カメラとの接続
撮影ミラー22、撮影ミラー25又は撮影ミラーPLの洗浄及び滅菌を行ってから使用します。そして撮影ミラー22、撮影ミラー25又は撮影ミラーPLを連写カメラ先端部 (ミラーガイド) に奥までしっかり差し込みます。
- (2) パソコンへの接続
撮影ミラーを接続した連写カメラの USB ケーブルをパソコンの USB3.0 端子に接続します。そしてパソコン側で専用ソフトウェアを起動します。動画像が表示されると本品の白色 LED が点灯します。

(3) 撮影

- ・通常撮影時には、メインスイッチを押し、離すと画像を保存するかどうか尋ねられます。パソコン側の操作で保存ボタンを押すと、その画像がコンピュータに保存されます。
- ・連写撮影時には、メインスイッチを押し離すと予め設定された秒数のタイマーが起動します。メインスイッチを押す、もしくはタイマー設定時間が経過すると、別途予め設定された時間と周期に従い静止画の取り込みを行った後、画像を保存します。

(4) 画像表示

パソコン側の操作で画像リストを開くと、保存した画像の縮小画像のリストが表示されます。縮小画像をストレッチ（タッチパネル）すると、その画像が拡大して表示されます。

(5) 終了

パソコン側の操作で動画像を表示するウィンドウを閉じると、撮影を終了し、白色 LED が消灯します。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1) 本品全般

- ・本品は濡れた手で使用しないで下さい。
- ・本品は長時間（5 時間以上）連続して使用しないで下さい。

(2) ケーブル類の取扱い

- ・清掃又は点検の際や長時間使用しない場合、不具合が生じた場合、本品の USB ケーブルをパソコンから抜いて下さい。
- ・医療従事者又は患者がパソコンに接続されているケーブル類に手足を引っ掛け、測定器やパソコンが落下する可能性がありますので注意して下さい。

2. 相互作用

ペースメーカー、植込み型除細動器の電子障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器と併用すると、機器に誤作動を招くおそれがありますので、併用しないで下さい。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

内部の光学部品にかび、結露等が生じる場合がありますので、下記の範囲内で保管して下さい。

周囲温度：室温 15℃～35℃
周囲湿度：30%～70%RH（結露しないこと）
気 圧：750hPa～1060hPa

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、イオウ分又は塩分を含んだ空気等により悪影響が生じる恐れのない場所に保管すること。
- ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等に対する安定状態に留意して保管すること。

2. 耐用期間

連写カメラの耐用期間は当社指定の保守点検を実施した場合 5 年間とする。「自己認証（当社データ）による」

【保守・点検に係る事項】

＜連写カメラ＞

- ・連写カメラは滅菌しないで下さい。
- ・連写カメラを清掃する際には、超音波洗浄器を使用せず、消毒用エタノールで拭いてください。シンナー、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤、グルタラル系薬剤、化学雑巾などは使用しないで下さい。

＜撮影ミラー、咬合撮影補助ツール＞

	手順	注意事項
除染	・使用后、冷水中でパーツを柔らかい消毒ブラシで残量物が残らないように洗浄する。	・血などの付着物が付いたまま乾燥させることは避けること。
洗浄・消毒	・消毒液は以下の図に記載の使用可ものを推奨する。その際、使用方法は各薬液の指示に従うこと。 ・最終洗浄には精製水を使用すること。	・次の成分を含む消毒液及び以下の図に記載の使用不可が記載されている消毒液は、製品の劣化等が考えられるため使用しないこと。 塩素系薬液（次亜塩素酸ナトリウムなど）、過酸化水素系薬液（オキシドールなど）強酸性水
滅菌	・撮影ミラー、咬合撮影補助ツールはオートクレーブ可。121℃、20 分 ・オートクレーブ滅菌には精製水を使用すること。	・オートクレーブ滅菌で耐えうる最大の温度は 137℃である。 ・汚れ、水分、洗浄剤などが付着した状態で滅菌しないこと。 ・オートクレーブ滅菌に水道水を使用しないこと。

撮影ミラー、咬合撮影補助ツールの使用可能消毒液について

	撮影ミラー	咬合撮影補助ツール
グルタラル系薬液	○	○
消毒用エタノール	○	○
第四アンモニウム塩系薬液	×	×
ピグアナイト系薬液	×	○

○：使用可

×：使用不可

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

株式会社アドバンス

製造元

株式会社アドバンス 府中工場

販売業者（販売店）

株式会社パノコム
お問い合わせ先
TEL：03-5839-2544 FAX：03-5687-7336